令和８年10月６日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

知りたい！
GIGA × 学習環境設定の工夫

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

自ら進んで学習に取り組む子供たち





【出典】石川県能美市立浜小学校　※左上写真
新潟県新潟市立大野小学校　※右下写真

教師による自己調整学習の促進の例

補足イメージ㉕

（Dignath et al. (2022) “Assessing How Teachers Enhance Self-Regulated Learning Coding Guide”を基に作成）

動機づけ方略

質の高い学習を開始・継続することができるよう、自らの動機づけ（モチベーション）や感情を整える方略

学習課題の意義づけ・価値づけ

取り組む学習が、目標に照らして努力に見合う価値があると実感することで動機づけを高める

学習環境の調整

自身が学習に集中できるように学習環境を整える

他者との協働や支援の活用

友達に聞く、協働する、教師や保護者の支援を求めるなど、学習を進める上で必要な社会的リソースを整える

自己肯定感の維持

学習成果の要因を、変えられない又は外部的な要因（自らの能力等）に求めず、自分で変えられる又は内部的な要因（学習方略等）で捉え、自己肯定感を支える

意思や注意のコントロール

学習に関係のない思考を抑え、学習の目標を達成するための活動に注意を振り向ける

学習方略

参考資料⑨参照

学習内容をよりよく理解し、定着するよう学習途中の情報処理の方法等を工夫する方略

反復方略

学習した内容が長期記憶として定着するまで、繰り返し学習できるようにする

精緻化方略

理由や意味を付け加えるなど、新たな学習内容を、既存の知識と関連付けて深く理解できるように工夫する

組織化方略

同じ点に着目して情報を整理する、内容を要約するなど、新たな学習内容の中で関連付けを行い、体系的に理解できるように工夫する

メタ認知的方略

学習方略がうまく働きよりよい学習成果に結びつくよう、自身の学習過程の計画・把握・調整・振り返り等を適切に行う方略

計画方略

学習活動に先んじて、学習過程の計画、目標設定、学習方略の選択等を行う

モニタリング方略

学習過程において理解度等を自分に確認することで、学習の進捗を確認する

評価方略

実際の学習活動終了後、学習の進捗を当初の学習目標と照らし合わせる

調整方略

学習目標を達成したか確認したあと、進捗状況に応じて自身の学習方略等を調整する

自己調整学習を促進する教師の関わりの類型

- ①直接的な方略指導：教師が方略を意図的に指導することで、児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
- ②間接的な方略指導：教師は特定の方略を明示しないが、問いかけ等を通じて児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
- ③学習環境設定の工夫：児童生徒が自己調整学習を行う必要がある環境を設定し、児童生徒が自然と方略を工夫していくことを促す

【出典】中央教育審議会　教育課程部会　総則・評価特別部会　取りまとめ(案) (会議後修正版)　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/content/20260804-mxt_kyoiku01-000051429-1.pdf

教師による自己調整学習の促進の例

(Dignath et al. (2022) “Assessing How Teachers Enhance Self-Regulated Learning Coding Guide”を基に作成)

参考資料⑨参照

動機づけ方略	学習方略	メタ認知的方略
質の高い学習を開始・継続することができるよう、自らの動機づけ（モチベーション）や感情を整える方略	学習内容をよりよく理解し、定着するよう学習途中の情報処理の方法等を工夫する方略	学習方略がうまく働きよりよい学習成果に結びつくよう、自身の学習過程の計画・把握・調整・振り返り等を適切に行う方略
学習課題の意義づけ・価値づけ 取り組む学習が、目標に照らして努力に見合う価値があると実感することで動機づけを高める	**反復方略** 学習した内容が長期記憶として定着するまで、繰り返し学習できるようにする	**計画方略** 学習活動に先んじて、学習過程の計画、目標設定、学習方略の選択等を行う
学習環境の調整 自身が学習に集中できるように学習環境を整える		**モニタリング方略** 同じ点に着目して情報を整理する、内容を要約するなど、新たな学習内容の中で関連付けを行い、体系的に理解できるように工夫する
意思や注意のコントロール 学習に関係のない思考を抑え、学習の目標を達成するための活動に注意を振り向ける		**調整方略** 学習目標を達成したか確認したあと、進捗状況に応じて自身の学習方略等を調整する

自己調整学習を促進する教師の関わりの類型

①直接的な方略指導	：教師が方略を意図的に指導することで、児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
②間接的な方略指導	：教師は特定の方略を明示しないが、問いかけ等を通じて児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
③学習環境設定の工夫	：児童生徒が自己調整学習を行う必要がある環境を設定し、児童生徒が自然と方略を工夫していくことを促す

自己調整学習を促進する教師の関わりの類型
①直接的な方略指導 ：教師が方略を意図的に指導することで、児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
②間接的な方略指導 ：教師は特定の方略を明示しないが、問いかけ等を通じて児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
③学習環境設定の工夫 ：児童生徒が自己調整学習を行う必要がある環境を設定し、児童生徒が自然と方略を工夫していくことを促す

資料へのリンクはこちら

【出典】中央教育審議会　教育課程部会　総則・評価特別部会　取りまとめ(案) (会議後修正版)　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/content/20260804-mxt_kyoiku01-000051429-1.pdf

「GIGA × 学習環境設定の工夫」

学び方と学習計画

学習教材の提供

合理的配慮と端末活用

「GIGA × 学習環境設定の工夫」

学び方と学習計画

学習教材の提供

合理的配慮と端末活用

学習の過程を明示した表を共有

③水はどこから流れてくるのか考えよう

課題の設定	水はどこから流れてくるだろうか。 A-5.6
目　標	水が自分たちのもとに来るまでにどのような仕組みになっているか理解することができる。
情報の収集	・水源がどこにあって、どのくらいきょりがあるか。 B-7 ・水が通ってくる施設や場所について調べる。
整理・分析	・水源から自分までの流れを順序立てて考えてみる。 ・他県や他市町と施設について比かくする。 C-5
まとめ・表現	・水源から自分のところに来るまでの流れについて、資料をもとに説明する。 D-8

クラウド共有でいつでも確認し学習を進められる

【出典】静岡県吉田町立住吉小学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書

学習を進めるために必要なことを一元化して共有

	単元名	学習課題	目的・場面・状況
○	What does it mean to be a global citizen?	What is the global citizen?	地球市民として、世界のために自分ができることを発信する。

達成目標				
	発展	世界の抱える課題を選び、その現状に対して具体的な取組などを含め、自分の立場を仮定して、願いとともに表現できる。(30秒~45秒程度のプレゼンテーション)	使える単語リスト	練習ヒントカード
	標準	世界の抱える課題を選び、その現状に対して自分の立場を仮定して、願いとともに表現できる。(30秒程度のプレゼンテーション)	立場を仮定するヒントカード	ヒントカード
	基礎	世界の抱える課題を選び、その現状に対して願いなどを簡単な文で表現できる。(30秒程度のプレゼンテーション)	願いを伝えるヒントカード	振り返りシート

番	名前	自分の目標 学習課題に対する自分の目標を決めよう。	学習方法 自分に合った学習方法を選択しよう。	Step1 昨日の確認用	発表原稿 発表原稿の例はスライドのノートを確認	学習課題	達成度 今日の学習を振り返っての達成度は？自分の目標を超えることができたか。
4		標準	友達と取り組む	完成した！	助けてください		
5		発展	友達と取り組む	完成した！	完成した！	Global citizen is a person who knowing world problem and protecting the earth.	発展
6		発展	自分で取り組む	完成した！	完成した！	Global citizen is a person who do anything for the earth and others.	発展
7							

+ ≡ Unit6 Part2 Unit6 R&T① Unit6 R&T② Unit6 R&T③ Unit6 Unit Activity① Unit6 Unit Activity② Unit6 Unit Activity③



教師は生徒の学習状況を見取り、支援・指導する

目標や学び方を自分で設定し、自ら学ぶ力を育成

【出典】東京都足立区立六月中学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

子供の「学び方」と教師の「支援・指導の仕方」を見える化

	学習過程	生徒	教師
1	学習の振り返り	・これまでに学んだことを確かめる ・予習した内容をみんなで共有する	●これまでの学習内容を示す
2	課題把握・発見・設定	・今日の学習の課題を確認し、目標を設定する ・今日のめあてや達成目標を理解する	●本時の課題を板書する ●本時のルーブリックを提示する
3	見通し・インプット	・課題を解決するための学習の進め方を考える ・課題を解決するために必要なことを学ぶ	●課題追究の方略を板書する ●課題追究に必要な知識や考え方を示す
4	課題追究（前半）	・学習の進め方にそって、自分の力で考え、取り組む ・必要に応じて、教師と一緒に取り組み、友達のやり方を参考にする	●生徒の取組状況を把握する ●机間指導で個への支援・指導を行う
5	中間評価	・取組の進み具合を共有する ・進め方を見直したり、修正したりする	●形成的評価を行う（目視＋ICT） ●課題追究の方向性を再確認する
6	課題追究（後半）	・見直した進め方にそって取り組む ・考えた結果を表現する	●生徒の取組状況を把握する ●机間指導で個への支援・指導を行う
7	課題解決・共有	・課題に対する答えを共有し、確かめる ・自分の考えをさらに深める	●一人一人の追究結果を投影する ●追究結果を板書し構造化する
8	まとめ・振り返り	・課題に対する学習のまとめを行う ・自分の学び方を振り返る	●生徒の言葉でまとめの共有をする

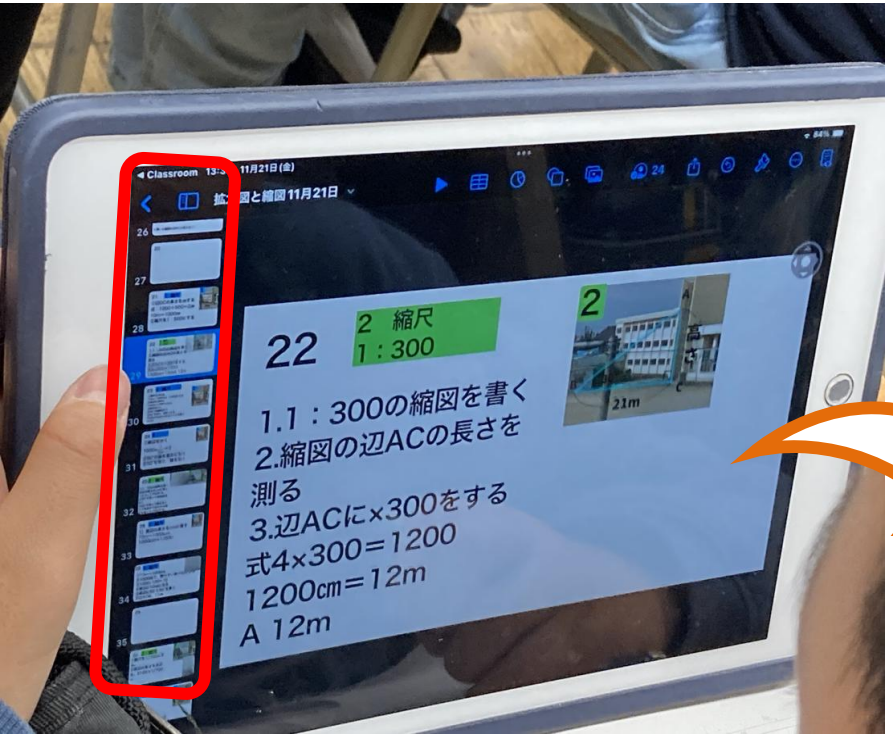




いつでも確認できるように、教室に掲示・子供の机上にも貼付

【出典】東京都足立区立六月中学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

クラウド共有で友達の考えを参照

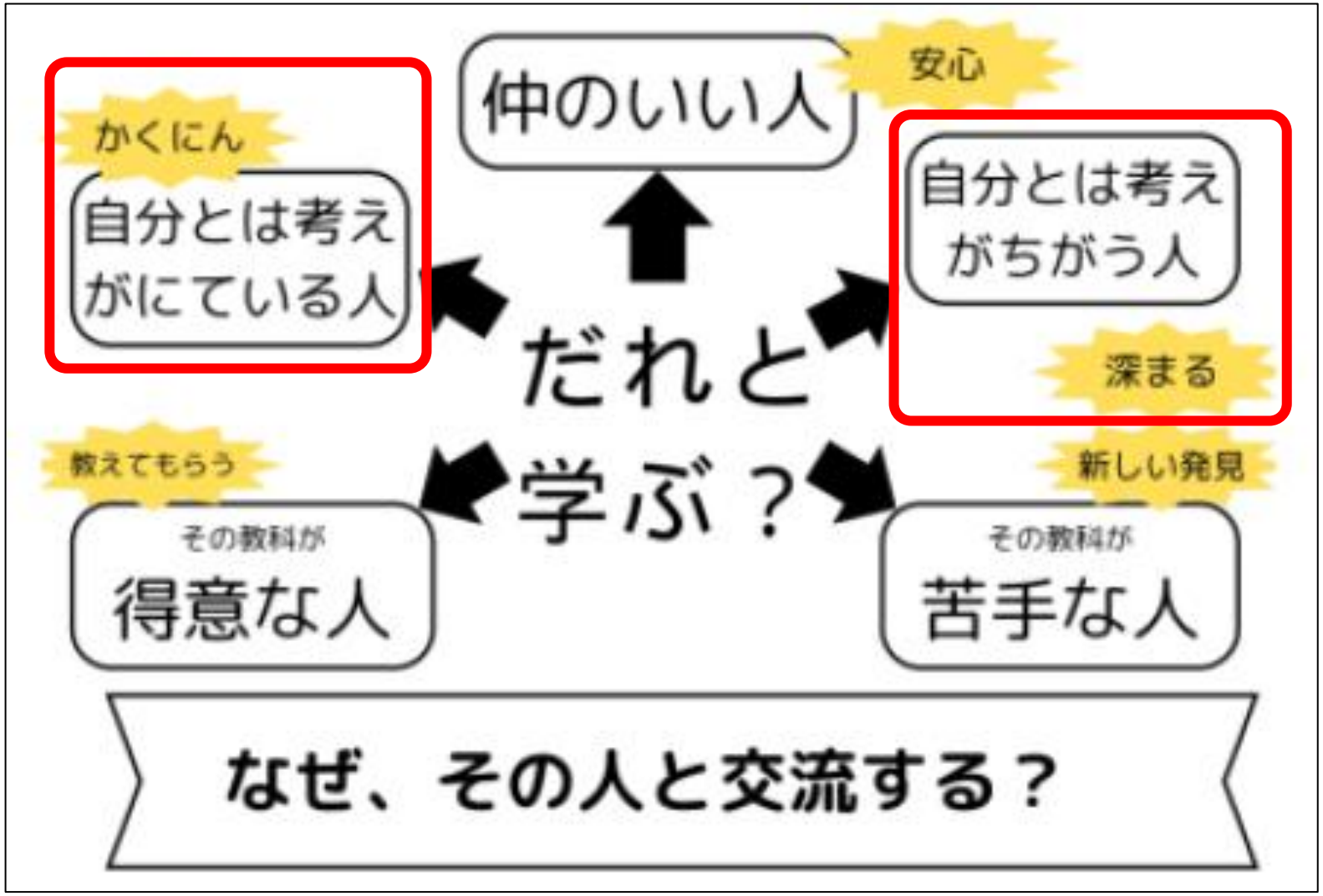




クラウド共有による他者の参照から対話や協働へ

【出典】新潟県新潟市立大野小学校　※赤枠等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

どのような目的のために、誰と学ぶか



学ぶ相手を意図をもって選択できる

【出典】埼玉県久喜市立太田小学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

「GIGA × 学習環境設定の工夫」

学び方と学習計画

学習教材の提供

合理的配慮と端末活用

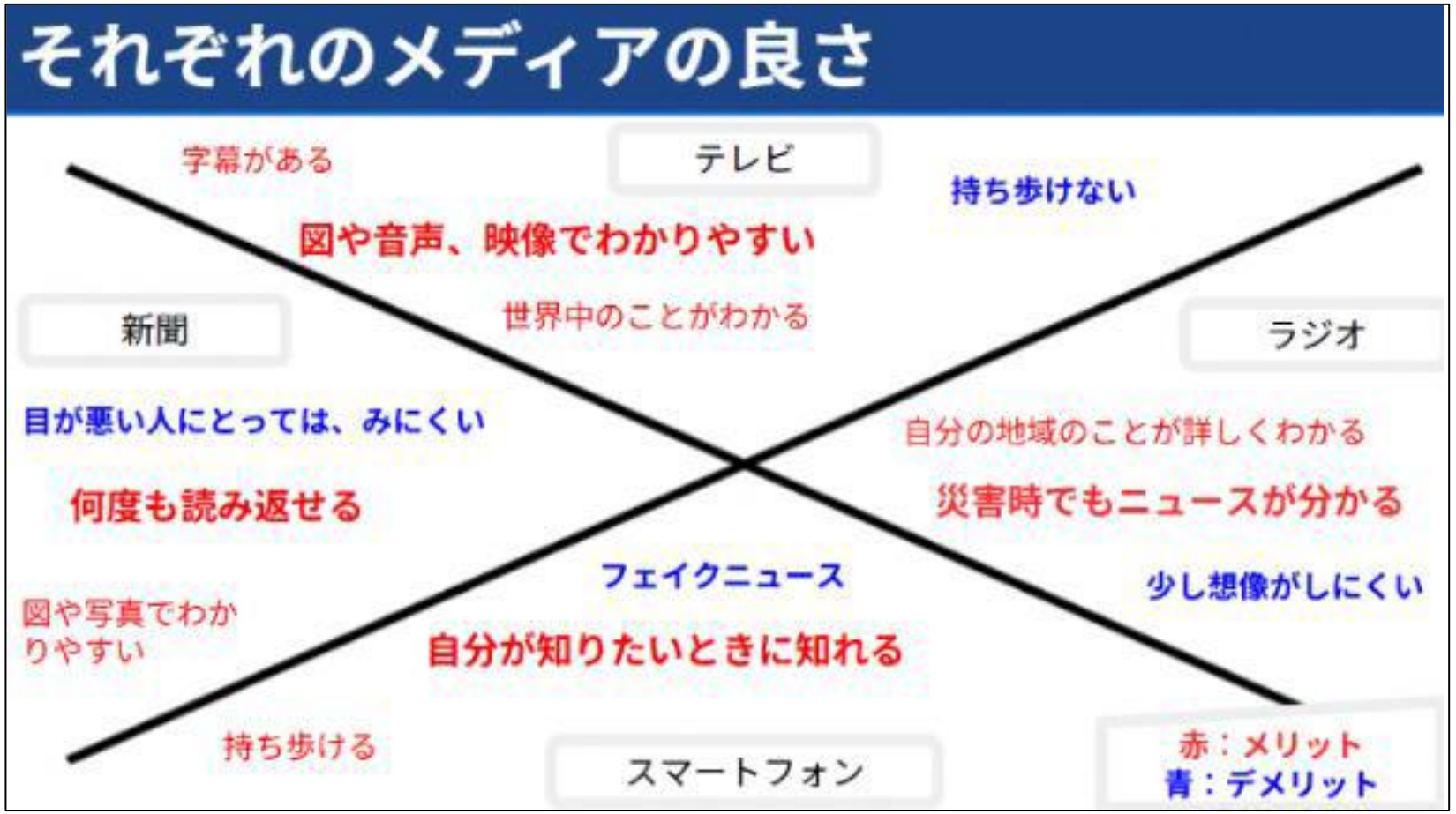
体育科における動画教材の活用



自分の動きを動画で撮影し、手本と見比べる

【出典】兵庫県養父市立伊佐小学校 令和７年度リーディングDXスクール事業報告書 ※赤枠等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

思考ツールの活用



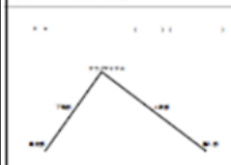
端末の活用で利便性の向上

【出典】静岡県吉田町立住吉小学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書

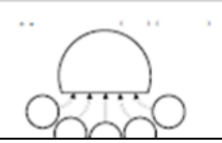
思考ツールの活用

思考スキルとシンキングツールの対応表

多面的にみる			
			
XYWチャート	くまで図	フィッシュボーン	バタフライチャート

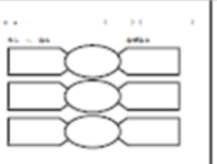
変化をとらえる		順序立てる	
			
プロットダイヤグラム	ベン図	ステップチャート	

比較する		分類する	
			
ベン図	座標軸	XYWチャート	座標軸

関係付ける、関連付ける		理由付ける	
			

見通す	抽象化する	焦点化する	
			
ステップチャート	ピラミッドチャート	ピラミッドチャート	同心円チャート

評価する		構造化する	
			
PMIシート	KWLシート	ピラミッドチャート	

推論する		広げてみる	
			
ステップチャート	キャンディチャート	イメージマップ	くまで図

変換する、応用する、具体化する、要約する（該当無し）

子供自身が学習課題に合わせて選択

【出典】文部科学省　StuDX Style「GIGAスクール構想×探究学習②」　（中京大学　教授　泰山　裕　氏）

オンラインで外部人材とつながる環境づくり



連携の必要性やねらいを明確にしながら準備

【出典】富山県朝日町立朝日中学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

「GIGA × 学習環境設定の工夫」

学び方と学習計画

学習教材の提供

合理的配慮と端末活用

【③デジタル学習基盤の意義の明確化と、それらを前提とした改訂】

- 中央教育審議会のデジタル学習基盤特別委員会は令和6年に「１人１台端末やクラウド環境等の情報機器・ネットワーク・ソフトウェアなどの要素で構成される一連の学習基盤」であるとデジタル学習基盤を定義するとともに、それらの役割を整理した。

【デジタル学習基盤を構成する要素】
①児童生徒の端末、②通信ネットワーク、③周辺機器、④デジタル教科書・デジタル教材・学習支援ソフトウェア、⑤CBTシステム（MEXCBT）、⑥教育データ利活用、⑦情報セキュリティ

【デジタル学習基盤の役割】
①多様で大量の情報を扱ったり、時間や空間を問わずに情報をやり取りしたり、思考の過程や結果を共有したりするなど、子供の学習活動や教師の授業・校務における情報活用の格段の充実を通じて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が可能となる
②多様な子供たちにとって包摂的で、主体的・対話的で深い学びの一層の充実に資する学習環境を教師にとっても持続可能な形で実現するもの

- 同特別委員会の整理を基に、総則で以下のようなデジタル学習基盤の意義を示すべきである。
  - 多様な子供たちにとっての包摂性を高めながら、教師にとって持続可能な形で主体的・対話的で深い学びを通じた資質・能力の育成に資する学習環境を実現できる
  - 教師の指導のツールとしての側面に加え、学習者の学習ツールとしての側面を有しており、子供にとっての学びやすさの向上や合理的配慮の基盤として働き、多様な特性を持つ子供たちが主体的に学ぶための基礎となる
  - デジタルかリアルか等の二項対立に陥らず、デジタルも最大限活用して一人一人の豊かな学びを充実させる視点が重要である

- 一方、例えばAIの更なる発展など、デジタル学習基盤自体は今後も変化していくことが想定される。例えば現在でも、検索結果の最上部にAIによる要約が表示され、その内容を単純にコピー＆ペーストしている児童生徒に対して適切な指導がなされていない実態もみられる。収集した情報の信頼性を確認する技能を一層高めるとともに、最終的な評価の段階でAIに頼って自らの思考を経ていない成果物は通用しないような評価の工夫が、喫緊の課題となっている。例えば、口頭試問の要素を取り入れる、端末でのテスト実施時等にブラウザ閲覧等を行えないようにするソフトウェア等を活用して自らの考えを根拠をもって記述させることなどが考えられ、こうした考え方を示していく必要性が生じている。

- こうした情報技術の進展に伴う取扱いは、必要に応じ別途ガイドラインや指導資料として示すことを学習指導要領や解説等に予め記載すべきである。

- その際、AIを含む情報技術の活用が「深い学び」に繋がるよう、好事例とともに、「深い学び」に繋がりにくいと考えられる事例も発信し、AIの活用等が統合的な理解や総合的な発揮を促すことに資するものとなるよう、授業者が参照しやすい具体の取組を進めるべきである。

- また、今後、各教科等において、資質・能力の記載や各教科等固有の学習過程を示していくに当たって、デジタル学習基盤が常に利用可能であることを念頭においた示し方とする必要がある。

資料へのリンクはこちら

【出典】中央教育審議会　教育課程部会　次期学習指導要領等に向けた審議まとめ
https://www.mext.go.jp/content/20261005-mxt_kyoiku01-000052360-1.pdf

【③デジタル学習基盤の意義の明確化と、それらを前提とした改訂】

- 中央教育審議会のデジタル学習基盤特別委員会は令和6年に「１人１台端末やクラウド環境等の情報機器・ネットワーク・ソフトウェアなどの要素で構成される一連の学習基盤」であるとデジタル学習基盤を定義するとともに、それらの役割を整理した

- こうした情報技術の進展に伴う取扱いは、必要に応じ別途ガイドラインや指導資料として示すことを学習指導要領や解説等に予め記載すべきである。

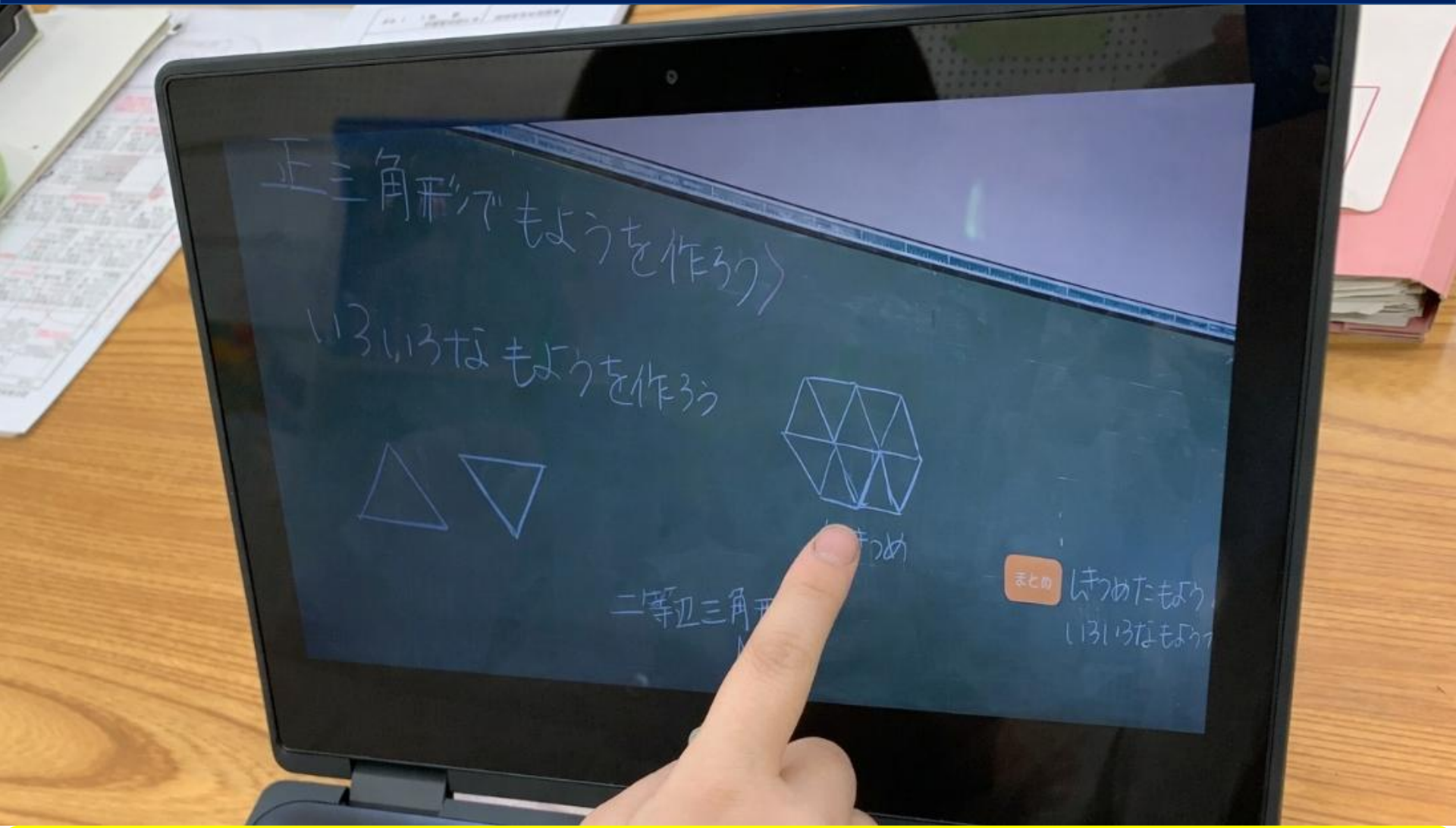
- 同特別委員会の整理を基に、総則で以下のようなデジタル学習基盤の意義を示すべきである。
  - 多様な子供たちにとっての包摂性を高めながら、教師にとって持続可能な形で主体的・対話的で深い学びを通じた資質・能力の育成に資する学習環境を実現できる
  - 教師の指導のツールとしての側面に加え、学習者の学習ツールとしての側面を有しており、子供にとっての学びやすさの向上や合理的配慮の基盤として働き、多様な特性を持つ子供たちが主体的に学ぶための基礎となる
  - デジタルかリアルか等の二項対立に陥らず、デジタルも最大限活用して一人一人の豊かな学びを充実させる視点が重要である

が表示され、その内容を単純にコピー＆ペーストしている児童生徒に対して適切な指導がなされていない実態もみられる。収集した情報の信頼性を確認する技能を一層高めるとともに、最終的な評価の段階でAIに頼って自らの思考を経ていない成果物は通用しないような評価の工夫が、喫緊の課題となっている。例えば、口頭試問の要素を取り入れる、端末でのテスト実施時等にブラウザ閲覧等を行えないようにするソフトウェア等を活用して自らの考えを根拠をもって記述させることなどが考えられ、こうした考え方を示していく必要性が生じている。

資料へのリンクはこちら

【出典】中央教育審議会　教育課程部会　次期学習指導要領等に向けた審議まとめ　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/content/20261005-mxt_kyoiku01-000052360-1.pdf

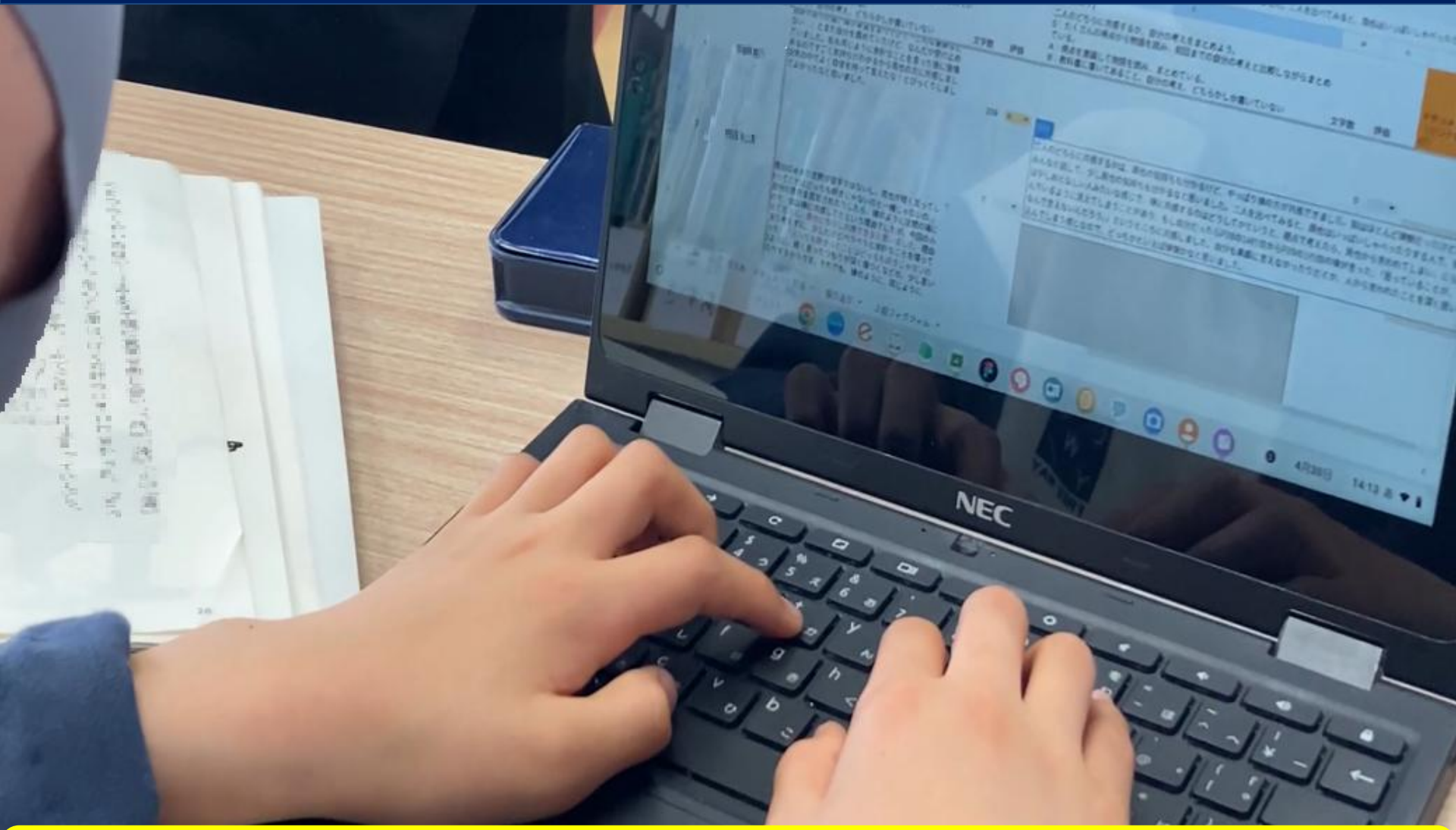
書くことに困難さのある子供の視点から



必要なときに板書を撮影して、ノートの代わりに

【出典】石川県能美市立寺井小学校

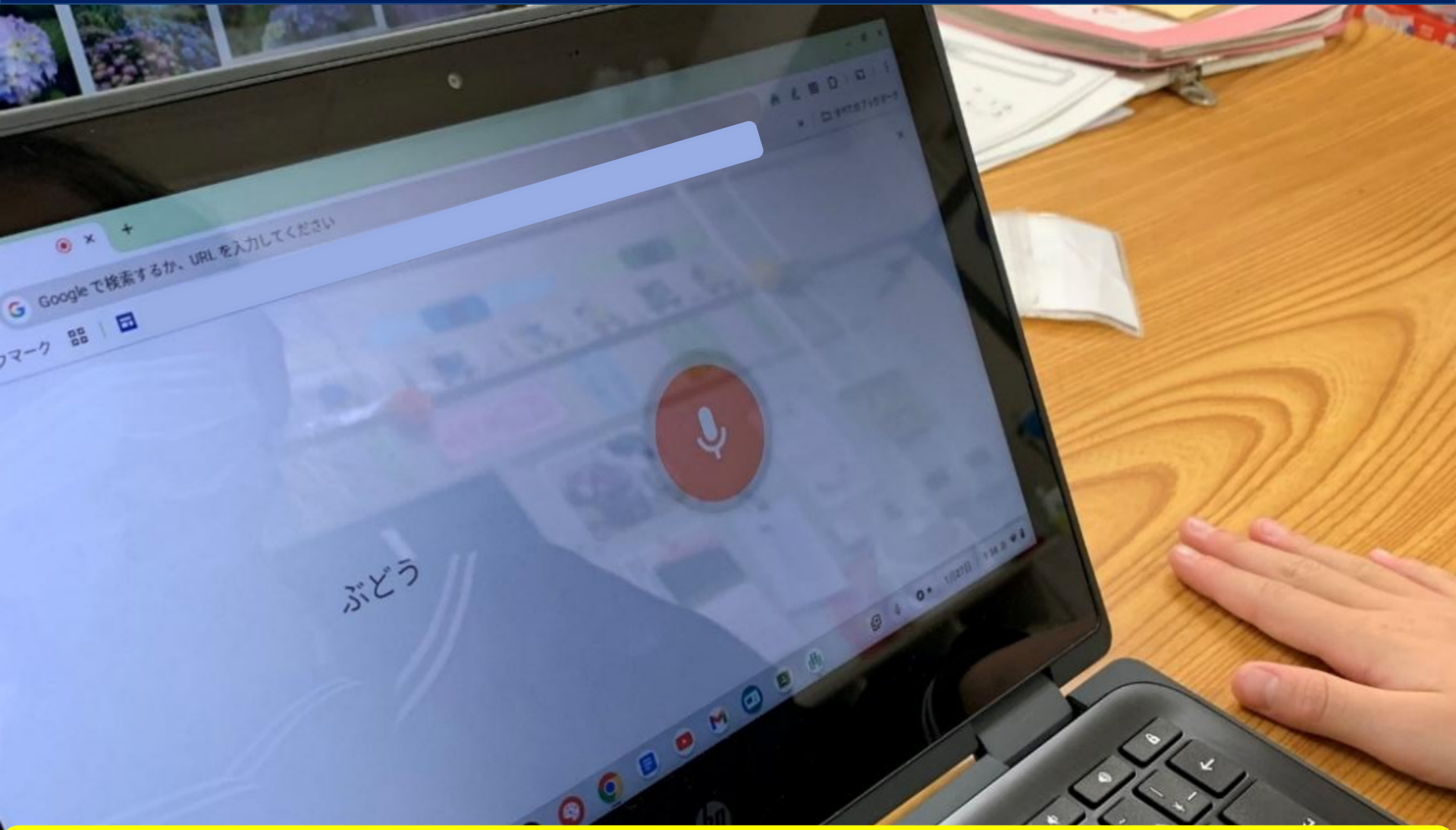
書くことに困難さのある子供の視点から



タイピングは学びやすさ向上の効果的な手立て

【出典】愛知県春日井市立出川小学校

書くことに困難さのある子供の視点から



自分に必要な機能を選択して使い、安心して学ぶ

【出典】石川県能美市立寺井小学校

聞くことに困難さのある子供の視点から



入力された音声が文字で表示され、視覚的に確認

【出典】新潟県新潟市立白新中学校　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

外国にルーツのある子供の視点から

いまからはこのプリントをやってね。

す すぐベトナム語・カスタム Gem

Bây giờ hãy làm tờ phiếu bài tập này nhé.

- Xin chào（シン チャオ）：こんにちは
- Cảm ơn（カム オン）：ありがとう
- Xin lỗi（シン ロイ）：すみません／ごめんなさい
- Vâng（ヴァン）：はい
- Không（コン）：いいえ
- Cái này（カイ ナイ）：これ
- Bao nhiêu?（バオ ニieu）：いくらですか？
- Ngon（ゴン）：美味しい
- Tạm biệt（タム ビエット）：さようなら



翻訳機能や音声入力を活用して学習内容を理解

【出典】愛知県春日井市立藤山台小学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

「GIGA × 学習環境設定の工夫」

学び方と学習計画

学習教材の提供

合理的配慮と端末活用

令和８年10月６日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

知りたい！
GIGA × 学習環境設定の工夫

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN